

自分たちの目で見て
肌で感じる事が
一番の学び

にしもと ゆみこ
西本 由美子

NPO 法人ハッピーロードネット 理事長

昭和 28 年（1953）、いわき市生まれ。

広野町交通安全母の会メンバーとともに国道 6 号線のクリーン活動や花植えなどの地域活動をスタートし、2008 年に NPO 法人ハッピーロードネット設立。

震災時はネットワークを活かした支援物資の配送を行い、

翌年「ふくしま浜街道・桜プロジェクト」を立ち上げる。

中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る検討委員会委員も務める。

「意見を言える場所を作ってほしい」という子どもたちの声を

形にした「ハッピーロードネット」。子どもたちと最初にフォーラムを行ったのは 2005 年で、クリーン活動はそこから続いているものです。

震災後は正しく放射能を知る勉強も始めました。彼ら自身が国内外できちんと学び、活動場所の線量調査も自分たちで行ってクリーン活動をしているのです。

大人の提案ではなく、すべて子どもたちが発案し企画運営していますから、彼らがやりたい限りは続いていくでしょう。自分たちの目で見て肌で感じる事が一番の学びですよね。大人の役割は、彼らが学んだことを自ら社会に発信できる環境を作っていくこと。これが本当の人材育成かなと感じています。

地震、津波、原発事故の被害を受けた浜通りで、30 年、40 年と大人になっても関わっていくにはどうしたらよいか。桜の苗木を植樹し桜並木をつくり、震災を後世に語り継いでいく「桜プロジェクト」の主役も子どもたちです。

これまで 1 万 2,000 本を植えました。私にとって彼らの活躍は

苦勞を越えた大きな喜びで、もっと多くのチャンスを作ってあげたい。

彼らの可能性を社会に発信し続け、ともに故郷の未来を作っていきたいと思います。



浜通り復興のシンボル「桜プロジェクト」。
日本全国、世界からもボランティアが参加